

## 平成20年度第三回人財育成委員会『若手交流会』実施報告

(中小企業人材確保推進事業)

当委員会では先般、毎年恒例となっております人財育成委員会参加企業による『若手交流会』を開催致しました。当交流会開催は昨年度に引き続き、7月、10月、2月の計3回の開催が決定しております。今回はその第三回目の交流会開催であり総勢15社30名、内若手参加者17名にて開催いたしました。

第一部では「裁判員ゲーム」と題して模擬評決を実施いたしました。5月から実施される裁判員制度を意識して、社会人として理解を深める事を目的とし、同時にコンセンサスを深める手段として採用しました。

今回は企画から実施まで若手リーダーが中心となって行っており、又今回の企画が初めてで準備が相当懸かることも想定され、当初は企画の実施を危ぶむ声もオブザーバー側からも出ましたが、若手側の強い意欲と実際に裁判所に向いて模擬評決を受ける等の努力の末、無事実施にこぎ着けることが出来ました。

テーマの選定もよく、うまい具合に有罪・無罪が分かれ、中身の濃い討議が行われたと思います。裁判員制度に対する理解が深まり、人が人を裁く難しさ、意見の違うもの同士が限られた時間内に一つの方向性を出すことの困難さを各人は実感できたものと思います。

第二部懇親会では若手同士の会話もはずみ、更には若手メンバーが積極的にオブザーバーの面々と会話を交わす姿も見え、非常に盛り上がった懇親会となりました。懇親会の最後には今回から参加された若手の方や、第一回目から参加されている若手の方から当日の感想を頂き、非常に有意義な会であるということも感じ取ることができました。

各参加者が、社内中心メンバーとして互いに切磋琢磨出来る仲間と一人でも二人でも多く出会い懇親を深める事により、今後の各社の有用な情報交換、人的交流、問題解決等に役立て、対会社としてもお互いが良きパートナーと成り得る事を望むと同時に、将来的には宮城県IT業界全体のさらなる底上げと今以上の宮城県情報サービス産業協会の活性化を願ってやみません。

最後に、本来の業務を遂行しながらも進行役を務めて頂いた5名の若手責任者の方々、そして若手の方々のご参加を了承頂きました人財育成委員の皆様、本当に有難う御座いました。この場をお借り致しまして御礼申し上げます。

## 1. 開催概要

- 【実施日時】平成21年2月20日（金） 15:00～20:30  
第一部：裁判員ゲーム 15:00～18:30  
第二部：懇親会 18:30～20:30
- 【開催場所】パレス平安（第一部：7F シャンテ、第二部：6F ソレイユ）
- 【開催趣旨】各社若手の交流を通し宮城県IT業界のさらなる活性化を図る
- 【参加対象者】人財・育成委員会各企業内リーダー及びそれに準ずる方々  
（各社1～2名）
- 【参加人数】30名（参加企業数15社、若手17名）
- 【参加費】¥3000.-/名

## 2. 内容

テーマ：裁判員制度の体験を通して交流を深める

裁判員制度について、資料を元に概要の紹介を行った。

各人が裁判員となった想定にて模擬公判の映像を視聴し、判決を行う。（一次判決）

その後、評議としてグループ内で意見を交わしながら最終的な評決を行い、グループ毎に発表した。

### 3. 平成20年度第三回人財育成委員会若手交流会参加者名簿

参加企業及び参加者一覧(◎は若手参加者) 15社30名(内若手 11社17名)

参加企業様(順不同)	参加者(敬称略)	所属等
テクノ・マインド(株)	◎阿部 大 ◎牧 良美 ◎川畠 俊介 佐藤 弘志 安住 弘美	第三システム開発本部係長 第一システム開発本部  常務取締役(当委員会委員長)
(株)ビッツ	◎細川 雅透 ◎菅原 加津代	
(株)システムニコル	◎工藤 紘明 ◎阿部 智仁 田代 紀生	サブリーダー サブリーダー 取締役(当委員会副委員長)
(株)アート・システム	◎富田 良行 ◎小山 理生 荒井 勝広	リーダー  マネージャー
(株)SRA東北	◎渡部 岳彦 ◎粕谷 正司	
サイバーコム(株)	◎佐藤 吉正 ◎佐々木 孝一郎 佐藤 貴宏	リーダー 主任 第1技術部第2技術G課長
(株)システムワン	◎菅原 亮 高橋 貴紀	専務取締役
(株)東京システムエージェンシー	◎福原 勇樹	
東北インフォメーションシステムズ(株)	◎塚本 絵里子 阿部 研一	スペシャリストマネージャー
(株)富士通東北システムズ	渡部 昭	
(有)マインドアクセス	今野 寿道	代表取締役
(株)エスエスイー	◎鈴木 徹 島村 新治	青森事務所 サブリーダー 仙台事務所 所長
(株)アテネコンピュータシステム	菊地 義勝	取締役システム運用事業部長
(株)サクセス・サポート	星 昌浩	取締役統括部長
コンピュータ・マネジメント(株)	赤松 康治	

平成21年3月11日

## 平成20年度第三回若手交流会に対するアンケート集計結果

※アンケート対象17名中16名の集計結果です

個別の回答結果については「第3回若手交流会アンケート集計.xls」を参照ください

1. 裁判員制度について知っていましたか？

はい：15名      いいえ：0名      どちらともいえない：1名

2. 評議中、自分の意見を十分に主張できましたか？

はい：13名      いいえ：1名      どちらともいえない：2名

3. 2. で「いいえ」を選択した方

主張できなかった原因は何だと思えますか？

・主張した意見を押し、インパクトのあるネタが見つけれずにいた。

4. 評議中、他の裁判員の意見をよく聞くことができましたか？

はい：16名      いいえ：0名      どちらともいえない：0名

5. 評議中の雰囲気は、活気がありましたか？

はい：12名      いいえ：1名      どちらともいえない：3名

6. 評決は納得のいくものでしたか？

はい：13名      いいえ：2名      どちらともいえない：1名

7. 6. で「いいえ」を選択した方

どの点について納得できませんでしたか？

・評議時間が短く、有罪と無罪の間の状態で終わった。  
・有罪であることが明確すぎた。  
・量刑を決める根拠が裁判員に乏しく、事例を基準に定量的に量ってしまった。

8. ご自身が裁判員として選ばれた場合、裁判員として法廷に出席しますか？

はい：11名            いいえ：3名    無回答：2名

9. 今年一年を通して、若手交流会に参加して良かった事、悪かった事、改善点等を教えてください。

※自分に対することでも結構ですし、オブザーバ、若手リーダー向けでも結構です。

○良かった事

- ・ 自分の意見がはっきり言えたのが良かった。
- ・ 他社の上役の方に自分の紹介をできたこと。
- ・ ふだんできない交流をとおり、自分の意見をだす大切さを再認識した。
- ・ コンセンサスゲームのテーマなど興味深いものだった。
- ・ 普通に仕事をしていただけでは、これだけ多くの方々とそれぞれの立場でお話する機会はなかったと思います。自分の視野を広げることができました。
- ・ 垣根を越えた意見交流が出来た事。
- ・ 他社の若手と話などで交流ができたということは良かった。グループでの討議も活気があり良かったと思う。
- ・ ゲーム感覚だったので他の参加者の方ともなじみやすかったです。他社の方との交流という意味では大変よかったですと思います。
- ・ リーダに選任していただいた結果、企画→準備→運営に携わることができ、良い経験・勉強になった。人前で話すことに慣れてきた。
- ・ 普段話をする機会のない会社の方々と毎回違ったテーマで話ができよいい経験になったと思います。
- ・ 今回の裁判員のディスカッションについて大変勉強になった。タイムリーな話題でもあるし、興味深い内容だった。
- ・ 他社の同年代の方と短い時間ですが話を出来知り合えた事が良かった。自分の考え・相手の考えを聞き、色々な意見で自分の考えを変える・押すことができた。
- ・ 多くの方とコミュニケーションが取れて良かった。また、他の方の意見等とても参考になった。
- ・ ディスカッションして、一つの結論を出すという機会があまりないので、とても貴重な経験でした。

### ○悪かった事や改善点

- 話のしかたがうまくできなかったこと。
- その場しのぎの交流会になっていたのではないかと感じています。本音で話せたか？本音を引き出せたか？という観点では、まだまだ反省点が多いです。また、この会の目的・意義を本当に明確に理解できていたか、させられていたのかという点でも不足を感じました。
- いかに関わりやすく自分の意見を伝えるかの工夫が足りなかった。
- 日程の通知が若干遅かった気がする。
- 特になし
- 若手のリーダーに負担が多かったのもう少し負担がかからないようにできれば良かった。
- 年3回ということで3回とも出席させていただきましたが、実際全て出席するのは難しいかなと思いました。
- 通常業務とのスケジュール調整ができず、準備の打ち合わせになかなか参加できなかった。
- 裁判員として出せる結論が0か1しかないので、裁判員として考えられる余地があまり無いのが少し残念だと思った。結果的には題材としては適さなかったかもしれない。
- 最初に考えた事、思った事等をもっと強く押す力が必要だった。相手の意見を聞いて流されるだけでなく反対意見としてぶつけてもなかった。
- 予算等もあるが、交流会の回数が少ない。
- なかなか積極的に発言したり、行動できなかったこと。

10. 今回の若手交流会についてのご感想、今後のご要望等、自由にお書きください。

- 2回参加させていただいて少し成長できたと思います。
- 少々堅苦しい感じもありますが、せつかく時間を割いて行う会ですので、セミナー形式での開催もよいかと思います。なぜ参加しているのか、何をすることができるのかを明確に感じることができる会になれば有意義に感じる方も多くなるはずで
- す。
- みんなが意見を言えて、交流を深められる場を今後も続けていただきたいと思
- います。
- もともと裁判员制度に興味があったので良い経験が出来た。
- 御自分の業務の他にこのように準備をいただいた、若手リーダの方々には頭が上がりません。ありがとうございました。
- 若手交流会はよかったと思います。今後このメンバーもしくはメンバー入替し、中堅交流会なんかもいいのではないのでしょうか？リーダの方々ありがとうございました。
- 開催ごとにリーダを決めて行えばまた違った会にできるのではないのでしょうか。
- リーダを複数班に分ければ、リーダの負担も減るし、回数も増やせると思う。実際、リーダをして主体的に交流会に臨むことができた。(オブザーバの負担が増えない程度に・・・)
- なかなかない機会ですので、これからも続けていってほしいと思います。
- 非常に有意義でした。今後も続けてください。
- 他社の方と有意義な時間を過ごせ大変良かったです。また機会があれば別の機会にもお話したいと思
- います。
- 若手リーダの方、交流会の準備等、お忙しい中ありがとうございました。
- 2回目の参加だったのですが、少し緊張してしまいました。でも様々な人の意見を聞くことができ、良かったです。